



吟詠に合わせ力いっぱい揮毫する



発行所  
比叡山時報社  
〒577-0116 大阪府東淀川区本町4-22-2  
電話 077-578-0001  
振替 00970-2-9732  
宗教法人延暦寺事務所  
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会  
会報  
年会費(3000円)中  
に会報(比叡山時報)  
購読料を含む。

令和4年比叡山から  
発信する言葉  
大悲  
万行  
すべての行いは大悲から



こちらから

ご購読は

新緑の季節を迎えた比叡山では、去る4月3日、比叡山高等学校生による「書」の揮毫実演が行われた(詳細は6面にて報告)。日々習練を重ねた筆使いと笑顔溢れる活気のある学生たちの姿は、居合わせた人々を魅了するものとなり、何かを成し遂げようとする気持ちを思い出させてくれた。その勇ましい姿は、本年の干支、寅にも似ている。仏教では、この「寅」と深い関係を持ち仏法の護持神・福德善神と称されているのが毘沙門天王である。

毘沙門天王は、北方を守護している仏教の守護神であり、別名を「多聞天」と称される。「一つも残さず、多くの教えを聴くことができる」智慧をもち、手に「宝塔」を捧げる姿は、教えを大切に守り伝えていく姿勢を表している。また、『毘沙門天王功德経』に「若し人ありて、毘沙門天王において體を見、名を聴いて、心に念ずる者は、八萬億劫生死の微細の罪を除き、百千億の功德を得て仏位に至り、現在に無量の福を増長す」とあることから、仏法を守る兵の士なりとも称されている。そして、この毘沙門天の使い(仲介者)とされるのが「トラ(寅・虎)」なのである。

「トラ」は、中国では百獣の王として、「一晩で千里を走る」と伝わっている。このことからトラは、娑婆世界で人々の願いを毘沙門天に代わって聞いて回り、そのことを伝える役目を担うお使いとされたのであろう。

学生諸君の目先の利益にとら(虎)われず日々精進して、笑顔(ガオー)を絶やさずに挑む姿は、とてもすがすがしい。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という言葉がある。危険を恐れず、意を決してやらねば成功は得られないし、挑戦の気持ちを忘れずにむかっていくところにこそ守護神毘沙門天の加護も働くにちがいない。若者のその直向きさを見て、あらためて襟を正した。

挑戦の気持ちを忘れずに

